

その商圈を、数字で見る。

地域の事業者支援のための、商圈データ基盤

「この通りに、どんな人が、いつ、どれだけいるか」。出店も、融資判断も、事業計画も、本当はここから始まります。まちの人口・人の動き・事業所の集まりを一つの地図に重ね、商圈をひと目で数字にする道具です。勘や地元の感覚を、根拠のある判断に変えます。

これに答えます

① どんな人が住んでいるか

町丁目ごとの人口・世帯・年齢構成。国勢調査に基づく実測値。

② 昼と夜で人がどう動くか

滞在人口の昼夜差。住む人ではなく「その場にいる人」を見る。

③ 商売の集まり具合はどうか

事業所の数・従業者数。競合や賑わいの密度を面で捉える。

④ この先も人がいるか

将来人口の見通し・地価。20年後を見据えた投資判断へ。

たとえば、こんな問いに。

「駅前とバイパス沿い、昼間人口が多いのはどちらか」「この地区は10年で人が増えるのか、減るのか」「競合が薄く、需要が残っている通りはどこか」「融資先の立地は、商圈として妥当か」。

ほかと何が違うのか

国のRESASや統計サイトでも、地域の数字は見られます。ただ、その多くは「1種類ずつ」「重ねられない」「その地域の形に切り出せない」もの。このシステムは、複数の情報を同じ地図の上で重ね、商圈の単位で切り出して見せます。さらに御社（あるいは融資先）の売上データを重ねれば、「なぜこの店が伸びないか」まで踏み込めます。

	一般の統計サイト	このシステム
見せ方	1種類を1枚で	人口×人流×事業所を重ねて
単位	市全体・大きなメッシュ	町丁目・商圈の単位で
自社データ	載せられない	売上・顧客を重ねて分析できる
出所・時点	不明なことがある	全データに出所・年次を明示

[三島市の商圈マップ（人口×昼夜人流×事業所）をここに掲載予定]

始め方は3段階

1

オープンデータで
商圈の全体像を描く
(低コストで着手)

2

対象地域・課題を
絞って深掘り
(出店・融資・再生)

3

自社／会員データを
重ねて個別分析
(要相談)

ご一緒できること

- 商工会議所・自治体：会員・地域事業者への商圈診断、空き店舗・中心市街地の活性化、創業支援の立地アドバイス
- 金融機関：融資先の立地評価、事業性評価の裏づけ、取引先への付加価値サービス
- 事業者：出店・移転・撤退の判断、商圈の再確認、自社データを使った深掘り分析

使用データ（すべて公的なオープンデータ）：国勢調査・経済センサス（総務省統計局）／人流オープンデータ（国土交通省）／地価公示・将来推計人口・各種指定情報（国土数値情報, 国土交通省）／地理院タイル（国土地理院）。個人が特定される情報は扱いません。御社・会員のデータをご提供いただく場合は、秘密保持のうえ、より詳細な分析が可能です。

五十嵐こと AIプロダクトアーキテクト／Z-AI株式会社（静岡県長泉町） | 公益財団法人静岡県産業振興財団 登録専門家

経歴：SAP・SAS Instituteでデータ製品開発 | データに基づく意思決定戦略・地図／位置情報データ活用 | anozenjo.org